

水草研究会第34回全国集会講演プログラム

●口頭発表（8月25日（土）13:00～16:10）：総合科学博物館 生涯学習棟2F 研修室

1. 13:00- 河川において水生植物の群落組成を決定する要因
：山ノ内 崇志・石川 慎吾（高知大・院・黒潮圏総合科学）
2. 13:20- アオサ・アオノリの種生物学的研究
：永野萌（お茶の水女子大院・生命科学）
3. 13:40- 佐賀平野で侵略的に増殖している絶滅危惧植物ヒシモドキとアサザの状況について
：上赤博文（西九州大学）
4. 14:00- 愛媛県における絶滅危惧種調査と水草の現状
：小林真吾（愛媛県総合科学博物館）・松井宏光（松山東雲短大）
— 休憩 —
5. 14:30- 富山県の四大河川扇状地用水路における水草フロアとその分布
：中田政司（富山県中央植物園）・長井眞隆（黒部市）
6. 14:50- 野生絶滅種コシガヤホシクサの野生復帰プロジェクト
：田中法生（国立科博）・市川沙央里（筑波大・生物資源）・鈴木康平（筑波大・生命環境）・小幡智子（筑波大・生物資源）・上條隆志（筑波大・生命環境）
7. 15:10- 日本産車軸藻類の分類と生育分布の現状
：坂山英俊（神戸大・理）
8. 15:40- 韓国南部の農村地帯の水草
：下田 路子（富士常葉大学社会環境学部）・宋 鍾碩（安東大学校自然科学大学）

●ポスター発表（8月25日（土）：コアタイム 16:10～17:00）総合科学博物館 研修室前ロビー

- P1. 富山県の四大河川扇状地用水路に出現する水草の染色体数
：中田政司（富山県中央植物園）・長井眞隆（黒部市）
- P2. 福岡県におけるブラジルチドメグサの分布と生態
：須田隆一*・中島淳（福岡県保健環境研究所）
- P3. 北九州市のため池におけるガシャモクの生活史
：大野睦子（北九州市）*・須田隆一（福岡県保健環境研究所）
- P4. 野生絶滅種コシガヤホシクサの保全活動
：永田翔（NPO 法人アクアキャンプ）・田中法生（国立科博）
- P5. 最も絶滅が危惧される車軸藻類ホシツリモの歴史と現在
：加藤将（神戸大・院・理・生物）
- P6. 裏磐梯五色沼湖沼群の水生植物の変遷
：首藤光太郎（福島大・院・共生システム理工）・森康裕（福島大・共生システム理工）
・黒沢高秀（福島大・共生システム理工）
- P7. 河川における水生植物の栄養塩 利用特性について
：片桐浩司（株式会社セ・プラン）
- P8. 愛媛県におけるデンジソウの現状
：藤原陽一郎（特定非営利活動法人愛媛生態系保全管理）
- P9. アイノコヒルムシロについての疑問
：小林真吾（愛媛県総合科学博物館）